

(第1片)

(表)

年 月 日

福井県知事 様

管理者住所

管理者氏名

㊟

診療用放射性同位元素 変更届  
陽電子断層撮影診療用放射性同位元素

標記について、医療法第15条第3項および医療法施行規則第24条第11号並びに同施行規則第29条第2項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

病 院	名 称	
	所 在 地	
診 療 所		電話番号 ( )
変更予定年月日		年 月 日
変更事項		1. 診療用放射性同位元素 2. 陽電子断層撮影診療用放射性同位元素 (PET 検査薬)
変更内容		1. 診療用放射性同位元素に関すること 2. 施設等 (使用室、貯蔵施設、廃棄施設、放射線治療病室、特別措置病室) に関すること 3. 放射線従事職員に関すること
変更概要 (内容を具体的に)	変更前	
	変更後	
同位元素等に関する事項	種 類	
	形 状	
	年間使用予定数量 (ベクレル)	
	最大貯蔵予定数量 (ベクレル)	
	3 月間最大使用予定数量 (ベクレル)	
	1 日最大使用予定数量 (ベクレル)	

(裏)

放射線診療に従事する医師、歯科医師または診療放射線技師の氏名および放射線診療の経歴	氏名	職種	放射線診療に関する経歴	
放射線治療病室等の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	室名		放射線治療病室	特別措置病室
	内装材	天井		
		床		
		壁		
		扉		
	放射線治療中である旨の標識（注意事項等）		有 ・ 無	有 ・ 無
	画壁外側の実効線量が1 mSv/週以下となる措置（特別措置病室においては防護板等）		有 ・ 無	有 ・ 無
	突起物、くぼみ及び仕上げ材の目地等のすきまの状況（特別措置病室においては吸水性ポリエチレン濾紙等の準備）		適 ・ 否	有 ・ 無
	洗浄・排水設備は廃棄設備（排水）に直結されているか（特別措置病室においてはポータブルトイレ等）		適 ・ 否	有 ・ 無
	汚染検査のための測定器、除染器材、更衣設備（作業衣等）の設置		有 ・ 無	有 ・ 無
	退出基準の策定、治療患者及び介護者等への指導、退出の記録等（特別措置病室にあたっては措置の解除要件等）		適 ・ 否	適 ・ 否
汚染検査用放射線測定器の種類・名称				

使用室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	使用の場所		使用室・治療病室・その他（ ）						
	管理室		有 ・ 無						
	使用室等の区画	操作室		有 ・ 無					
		処置室		有 ・ 無					
		準備室		有 ・ 無					
		患者用・従事者用便所の区分		有 ・ 無					
		患者待機室		有 ・ 無					
		治療病室		有 ・ 無					
	建築物の構造		耐火構造・不燃材料・その他（ ）						
	措置事項		遮へい物を設ける場所		天井	壁	床	出入口	開口部
			遮へい物						
			構造						
			材料						
			厚さ						
	汚染のおそれのある場所の構造設備		突起物、くぼみ		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
			目地、すきま		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
			平滑施工をした表面仕上		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
			耐腐食性・耐浸透性		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
	フード、グローブボックス等		有（ ） ・ 無						
	排気施設への連結		有 ・ 無						
準備室に設ける洗浄施設		有 ・ 無							
排水施設への連結		有 ・ 無							
汚染検査に必要な測定器		有 ・ 無							
汚染除去用機材		有 ・ 無							
汚染除去洗浄設備		有 ・ 無							
更衣設備		有 ・ 無							
出入口の数		通常出入口		箇所					
		非常口		箇所					
使用室の標識		有 ・ 無							

貯蔵施設の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	貯蔵方法		貯蔵室 ・ 貯蔵箱	
	貯蔵室または貯蔵箱の場所		別添図面のとおり	
	貯蔵施設の構造		鉄筋コンクリート ・ 金庫 ・ その他 ( )	
	貯蔵施設の遮へい材料			
	貯蔵室の出入口の構造	出入口の数	通常出入口 非常口	箇所 箇所
		特定防火設備に該当する防火扉	有 ・ 無	
		閉鎖設備	かぎ ・ その他 ( )	
	貯蔵箱の閉鎖設備		かぎ ・ その他 ( )	
	貯蔵容器の構造および汚染防止措置	遮へい材料		
		空気汚染防止措置		有 ・ 無
		液体のこぼれ防止措置		有 ・ 無
		浸透防止措置		有 ・ 無
		受皿 ・ 吸収材		有 ・ 無
		貯蔵物の種類および数量の表示		有 ・ 無
		貯蔵容器の標識		有 ・ 無
貯蔵室の標識		有 ・ 無		
運搬容器の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	気体汚染発生防止措置		有 ・ 無	
	液体こぼれ・浸透防止措置		有 ・ 無	
	受皿 ・ 吸収材		有 ・ 無	
	運搬物の種類および数量の表示		有 ・ 無	
	運搬容器の標識		有 ・ 無	

廃棄施設の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	排水設備	構造、容量および基数	地上式（六面体等）・その他（貯留槽 $m^3 \times$ 基・希釈槽 $m^3 \times$ 基）
		排水監視設備	有 ・ 無
		漏水、浸透、腐食防止措置	有 ・ 無
		排液採取設備	有 ・ 無
		標 識	有 ・ 無
	排気設備	排風機的能力および基数	$m^3/時 \times$ 基
		排気監視設備	有 ・ 無
		漏水、浸透、腐食防止措置	有 ・ 無
		自動ダンパー装置等	有 ・ 無
		標 識	有 ・ 無
	保管廃棄設備	外部と区画された構造	有 ・ 無
		閉鎖設備	有 ・ 無
		耐火構造の措置	有 ・ 無
		空気汚染防止措置	有 ・ 無
		漏水、浸透、腐食防止措置	有 ・ 無
		標 識	有 ・ 無
使用室、貯蔵施設および廃棄施設の放射線障害の防止に関する予防措置の概要	放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示（患者用・従事者用）		有 ・ 無
	画壁等外側の実効線量が1ミリシーベルト/週以下となる措置		有 ・ 無
	管 理 区 域	管理区域を設ける場所	別添図面のとおり
		境界における実効線量が1.3ミリシーベルト/3月以下となる措置	有 ・ 無
		空気中の放射性同位元素の濃度が別表に定める濃度限度の1/10以下となる措置	有 ・ 無
		放射性同位元素によって汚染される物の表面密度が別表に定める表面密度限度の1/10以下となる措置	有 ・ 無
		立入制限措置	扉 ・ その他（ ）
		標 識	有 ・ 無
	敷地の境界等	敷地内居住区域および境界における実効線量が250マイクロシーベルト/3月以下となる措置	有 ・ 無
		入院患者（診療により被ばくする放射線を除く）の実効線量が1.3ミリシーベルト/3月以下となる措置	有 ・ 無
	その他	取扱者の被ばく防止用取扱器具	遮へい用具・その他（ ）
取扱者の被ばく測定器			

## 注意事項

- 1 当備付届は、同位元素等を変更する前に、あらかじめ届け出ること。
- 2 「放射線診療に関する経歴」は、医師または歯科医師の免許登録番号および年月日を記入すること。
- 3 隣接室名、上階および下階の室名ならびに周囲の状況を明記した放射性同位元素使用施設（使用室、貯蔵施設、廃棄施設）の平面図および側面図を添付すること。
- 4 使用室図、貯蔵施設図は各室ごとに線源の位置、線源から天井、床および周囲の画壁の外側までの距離（メートル）ならびに防護物の材料、厚さおよび表面の仕上材料を記入した見やすい縮図とすること。
- 5 排水および排気の系統を示す廃棄施設図を添付すること。
- 6 平面図には管理区域の標識等の位置を記入すること。
- 7 陽電子断層撮影診療用放射性同位元素を備える場合は上記5の他、診療放射線技師についても必要事項を記載し、それぞれが所定の研修を修了していることを示す書類を添付すること。また、放射線の防護を含む安全管理体制の確立を目的とする委員会についての規程、構成委員名簿を添付すること。
- 8 漏えい放射線測定結果報告書の写しおよび遮へい計算書を添付すること。
- 9 装置の性能等を記した仕様書またはカタログ等を添付すること。